

冬号

第139号

財団法人 山梨県交通安全協会

発行所 山梨県交通安全活動推進センター TEL (055)-237-7827
〒400-0064 甲府市下飯田一丁目13-23
(ホームページ http://www.yin.or.jp/user/ankyou/)

- | | | | | |
|----------|-----------|------------|----------|-----------|
| 甲府交通安全協会 | 南甲府交通安全協会 | 小笠原交通安全協会 | 韭崎交通安全協会 | 長坂交通安全協会 |
| 鵜沢交通安全協会 | 南部交通安全協会 | 市川交通安全協会 | 石和交通安全協会 | 日下部交通安全協会 |
| 塩山交通安全協会 | 都留交通安全協会 | 富士吉田交通安全協会 | 大月交通安全協会 | 上野原交通安全協会 |

- | | | | |
|-------------------|------------------|------------------|--------------|
| 自動車安全運転センター山梨県事務所 | 社団法人・山梨県トラック協会 | 山梨県タクシー協会 | 社団法人・山梨県バス協会 |
| 山梨県自動車販売店協会 | 社団法人・日本自動車連盟山梨支部 | 社団法人・山梨県自動車整備振興会 | 山梨県軽自動車協会 |
| 山梨県二輪車安全普及協会 | 山梨県自転車軽自動車商協同組合 | 社団法人・山梨県建設業協会 | |



交通事故ゼロを願って大空に風船を揚げる幼稚園児ら =塩山市役所前

飲酒運転絶滅 家庭から地域から

年末の交通事故防止県民運動
12月1日から31日

年末の交通事故防止県民運動は、十二月一日から三十一日までの三十一日間実施されています。

例年年末は、交通が混雑し、慌ただしさも加わるほか、飲酒の機会も多くなり、交通事故の多発が予想されます。県内の交通事故死者数は昨年まで二年連続八十人台でほぼ目標どおりにしたが、今年も年当初より死亡事故が多発し、このままの情勢で推移しますと、年間の交通事故死者数を目標数に抑えることは厳しい情勢となっています。

運動の重点は、①飲酒運転の絶滅②高齢者の交通事故防止③シートベルトとチャイルドシート④の着用徹底⑤若者による無謀運転および暴走族の追放の四点です。県民一人ひとりが、交通ルールの順守と正しい交通マナーを実践し、交通事故防止に努めましょう。

交通安全カレンダー

- 12月 年末の交通事故防止県民運動 平成14年
- 2月 交通安全推進県民大会
- 4月 春の全国交通安全運動
- 6月 交通安全子供自転車山梨県大会
- 7月 夏の交通安全防止県民運動
- 9月 秋の全国交通安全運動
- 10月 山梨県中学生交通安全弁論大会

内容紹介

- 2面 交通事故への対応方法
- 3面 高校生への自転車マナー向上対策
- 4、5面 各地区安協の活動
- 6面 各地区安協の活動
- 7面 県中学生交通安全弁論大会
- 8面 協賛団体の交通安全活動

交 差 点

「戦前戦後を通じて「世界一の安全天国」と自負していたわが国の治安状況は、ここ数年急激に悪化しています。

警察庁がまとめた全国の今年上半期の刑法犯の認知件数は、百二十八万件を超え、過去最悪となったほか、交通事故の発生件数も四十四万三千五百四件と過去最高を更新しています。

このように犯罪や事故が増加している背景には、いろいろな要素が複合していると思われ、その一つの原因として従来、地域社会が伝統的に持っていた犯罪抑止機能や家庭における問題解決機能が相対的に低下していると言われています。つまり無法なドライバーらに対する地域社会の監視の目が行き届かず、その結果、こうした行為を正させる力が低下し、道路利用者として当然守るべきルールやマナーが順守されなくなつたのではないのでしょうか。

ここ数年こうした情勢に対処するため、安全に対する各種のコミュニケーション活動などが積極的に推進されていますが、これからは、全国津々浦々に組織されている交通安全協会などがさらに連携するなかで、地域のニーズを踏まえた効果的な交通安全対策を強力に推進すると同時に、他の地域安全活動にも目を配っていく必要があると考えます。

本紙もこうした観点からコミュニケーション・パートナーとしての役割を一層強化するため、引き続き地域安全情報の積極的な提供に努めていきたいと思っております。

相手確認し、警察へ届け出

県交通安全活動推進センター

全国における二〇〇〇(平成十二)年の交通事故による死者数は、百六万四千七百六十三人を数え、九千六百六十六人が尊い命を失っております。一方、山梨県内における交通事故死者は二万六千人で県民八十八人に一人が交通事故により死傷していることとなります。このように交通事故は好むと好まざるにかかわらず私たちの生活と密接にかかわる状況となっております。このため山梨県交通安全活動推進センターは、不幸にして交通事故に遭遇した場合の留意事項についてまとめましたので参考にしてください。

(一)交通事故の場合どうするか？
 ア 警察への届け出が必要
 大切です。相手の自動車ナンバーはもちろん、運転免許証により、住所・氏名・連絡方法も確認しておくことが大切です。また、相手が入入している自賠責保険と任意保険の会社名、保険証明書番号も併せて確認してください。

イ 相手を確認することが大切です。相手の自動車ナンバーは、住所・氏名・連絡方法も確認しておくことが大切です。また、相手が入入している自賠責保険と任意保険の会社名、保険証明書番号も併せて確認してください。

ウ 目撃者を確保することが大切です。事故の目撃者がいる場合、その人の証言が得られるようにしておくことや、住所・氏名・連絡先を聞いてメモしておくことも必要です。依頼する状況でなく立ち去ってしまうような時は、自動車ナンバー、特徴などをメモしておくください。

エ 自分でも確認し記録しておくことが大切です。現場の見取り図や事故の経過など記録を取ったり、写真を撮っておくことも大切です。

オ 医師の診断を受けてください。事故発生時たいしたことがないと思っても、首のねんざなど後で重傷だった例もあります。このような場合に備え、事故に遭ったらできるだけ早めに医師の診断を受けることが大切です。

カ 逃走した車両のナンバー、車種、色、特徴などできるだけ多くの情報をメモしてください。

キ 警察への通報を速やかにしてください。

ク 本人が負傷した場合、同乗者、目撃者又は救急車の救護員らにできる範囲の情報(前記ア、イ、ウ)を伝えておくことも必要です。

ク 本人が負傷した場合、同乗者、目撃者又は救急車の救護員らにできる範囲の情報(前記ア、イ、ウ)を伝えておくことも必要です。

もしあなたが交通事故に遭ったら

負傷者救援も必要

皆さんは、車を運転中に交通渋滞でこの先どのくらい渋滞しているのか、場合によっては別の道を通った方がよいのではないかなどと迷ったことはないでしょうか。そんな時ドライバーにとって強い味方になってくれるのがビックスです。ビックスは警察庁、総務省(旧郵政省)、国土交通省(旧建設省)、その他関係機関・団体の参画のもとに大都市を中心に運用開始となり、山梨県でも、二〇〇一年五月に全国で二十九番目

シグナル

「ビックス」の運用開始 より細かな情報提供へ

行止めなどの交通規制の場所、目的地までの所要時間などの道路交通情報を、光ビーコン(情報収集提供装置)などにより、カーナビを通してドライバーに対し

情報提供が可能なエリアは、中央道や国道20号、同52号のほか、甲府市内の幹線道路で、交差点などに設置された光ビーコンなどを

提供される情報は五分ごとに更新されるため、ドライバーは、ほぼリアルタイムで交通情報を把握できることとなります。

この情報によってドライ

情報がカーナビに送信される仕組みになっています。また、FM多重放送の受信可能区域であれば、多重放送から情報を受信できることも可能です。

ビックスを使用するには、ビックス対応のカーナビを装備する必要があります。

提供される情報は五分ごとに更新されるため、ドライバーは、ほぼリアルタイムで交通情報を把握できることとなります。

この情報によってドライ

親と子ふれあい 交通ルール学ぶ

八田の山梨自動車学校

山梨県交通安全協会が経営する山梨自動車学校は、秋の全国交通安全運動を前にした九月十八日、「親子ふれあい教室」を八田村の同学校で開きました。教習所の一、二階の教室として、来年少生になる八田村の八田保育園児の年長児とその父母を対象とし、小笠原署、安協八田支部、八田村の協力を得て行いました。

この教室は教習コースを使用して道路で起こりうる危険や正しい交通ルールを学ばせる体験・実践型のもので、親子約四百四十人が参加しました。正しい横断歩道の渡り方や大型車の左折時の巻き込み状況(内輪差)の見学、シートベルト衝突体験、チャイルドシート取り付け講習、パトカー・白バイや大型特殊車の体験乗車などを行いました。

参加した父母からは「大変貴重な体験ができた。来年もぜひやってほしい」との意見が多く、同校としても今後継続していく方針です。

八田村の運転免許センターでは毎年 年末年始、運転免許の更新手続きをする人が多いため、12月29日(1月3日)休み 免許更新受け付けの窓口および駐車場が大変混雑します。

更新はお早めに

誕生日の一月前、誕生日を迎える人で、手続きができた前から手続きができますので早めに手続きを済ませて、年末年始はなるべくしてください。

免許センター 更新手続きはできません。この期間中、



チャイルドシート取り付けや白バイ乗車体験をした「親子ふれあい教室」

八田村の山梨自動車学校

高校生の自転車マナー向上へ

一時不停止、信号無視で事故急増

県警 街頭取り締まり強化

県内の自転車による交通事故は年々増加し、特に二〇〇〇(平成十二)年中の自転車事故は全交通事故の約一〇%を占めており、その事故原因の多くは自転車の一時不停止や信号無視などの交通違反が起因しています。

特に、高校生を中心とする自転車利用者の交通マナーの悪さは、県外からの転入者からも強く指摘されています。

このため、山梨県警は近い将来、取り締まりの強化

来の自動車運転者となる高校生らに対して、交通違反の危険性と交通ルールを守ることの重要性を認識してもらい、「他人を思いやる心を持った運転者」の育成を目的に、自転車マナー向上対策を推進していきます。

県警では関係機関・団体と協力して、次の対策を講じています。

1. 自転車に対する街頭指導取り締まりの強化

2. 信号無視、一時不停止、無灯火、二人乗り、並進走行、傘さし運転など危険迷惑走行に対して重点的な指導取り締まりを行う。

3. 違反自転車利用者には、軽い違反行為でも積極的に指導警告を行う。

4. 交通法令違反して、危険・迷惑行為には、指導警告票(イエローカード)を交付して再発防止の呼びかけを行う。

5. 警告指示に従わない悪質違反者については検挙を行う。

改正県道交法施行細則 暴走族対策を強化 12月30日から施行

山梨県は県道路交通法施行細則を改正、十二月三十日施行します。

暴走族対策などを強化するもので、以下の行為を禁止します。

1、ナンバープレートに赤外線吸収、または反射する物を取り付けたり、付

着させて運転する(大型自動車、ミニカーを除く普通自動車、大型特殊自動車に限る) 2、同法施行細則第10条17号・違反した場合5万円以下の罰金、大型車7千円・普通車6千円の反則金

3、二輪車に乗りながら、鉄パイプや金属バットなどを突き出したり振り回したりする 4、同11条11号・違反した場合5万円以下の罰金

5、二輪車6千円の反則金

6、二輪車に乗りながら、鉄パイプや金属バットなどを突き出したり振り回したりする 7、同11条11号・違反した場合5万円以下の罰金

「早めの点灯運動」推進

冬の夕暮れ時が危険

県警 ステッカーで呼び掛け



「早め点灯」を呼び掛けるステッカー

山梨県警が県内で発生した過去五年間の交通事故を分析したところ、薄暮時と呼ばれる

午後五時から八時までの三時間、全交通事故件数の約二〇%にあたる六千七百四十四件、死者数は全事故の約一七%にあたる八十五人を数え、なかでも歩行者が死亡した交通事故は全歩行者死亡事故の約三三%にあたる四十一人が「危険な時間帯」となっています。

このため、これらの交通事故が多発する、冬の夕暮れ時における「早めの点灯運動」を強力に推進しています。

夕暮れ時は、日没前と日没後の視界が異なり、人・車の発見が遅れがちとなって交通事故に結びつくので、夕暮れ時「早めの点灯」により自身の存在を歩行者や他車に早く知らせ、注意を引きつけること

とが交通事故防止に効果があることから、日没前の早い時間帯にライトを点灯し、歩行者や自転車利用者などの注意を引きつけ、併せて運転者の交通安全意識も高揚できるところから、「早めの点灯」で夕暮れ時の危険を未然に防止するものです。

「早めの点灯」の目安時間として先導的役割を果たすため、公共交通機関のドライバーであるバス・タクシーなどのプロ運転者に、点灯指導時間には率先して点灯してもらい、「早めの点灯運動」の輪を広げるようお願いしています。

効果のある日没前のおおむね三十分前を設定してあります。なお、雨天・曇天日には更に点灯時間を早めるよう心がけてください。

一般運転者の点灯時期の目安として先導的役割を果たすため、公共交通機関のドライバーであるバス・タクシーなどのプロ運転者に、点灯指導時間には率先して点灯してもらい、「早めの点灯運動」の輪を広げるようお願いしています。

効果のある日没前のおおむね三十分前を設定してあります。なお、雨天・曇天日には更に点灯時間を早めるよう心がけてください。

一般運転者の点灯時期の目安として先導的役割を果たすため、公共交通機関のドライバーであるバス・タクシーなどのプロ運転者に、点灯指導時間には率先して点灯してもらい、「早めの点灯運動」の輪を広げるようお願いしています。

効果のある日没前のおおむね三十分前を設定してあります。なお、雨天・曇天日には更に点灯時間を早めるよう心がけてください。

一般運転者の点灯時期の目安として先導的役割を果たすため、公共交通機関のドライバーであるバス・タクシーなどのプロ運転者に、点灯指導時間には率先して点灯してもらい、「早めの点灯運動」の輪を広げるようお願いしています。

効果のある日没前のおおむね三十分前を設定してあります。なお、雨天・曇天日には更に点灯時間を早めるよう心がけてください。

一般運転者の点灯時期の目安として先導的役割を果たすため、公共交通機関のドライバーであるバス・タクシーなどのプロ運転者に、点灯指導時間には率先して点灯してもらい、「早めの点灯運動」の輪を広げるようお願いしています。

効果のある日没前のおおむね三十分前を設定してあります。なお、雨天・曇天日には更に点灯時間を早めるよう心がけてください。

一般運転者の点灯時期の目安として先導的役割を果たすため、公共交通機関のドライバーであるバス・タクシーなどのプロ運転者に、点灯指導時間には率先して点灯してもらい、「早めの点灯運動」の輪を広げるようお願いしています。

効果のある日没前のおおむね三十分前を設定してあります。なお、雨天・曇天日には更に点灯時間を早めるよう心がけてください。

一般運転者の点灯時期の目安として先導的役割を果たすため、公共交通機関のドライバーであるバス・タクシーなどのプロ運転者に、点灯指導時間には率先して点灯してもらい、「早めの点灯運動」の輪を広げるようお願いしています。

効果のある日没前のおおむね三十分前を設定してあります。なお、雨天・曇天日には更に点灯時間を早めるよう心がけてください。

一般運転者の点灯時期の目安として先導的役割を果たすため、公共交通機関のドライバーであるバス・タクシーなどのプロ運転者に、点灯指導時間には率先して点灯してもらい、「早めの点灯運動」の輪を広げるようお願いしています。

中央道の速度規制 時速80キロが上限

県高速道路交通警察隊が調査

ドライバー2割が知らず

山梨県高速道路交通警察隊は、高速道路での交通事故の原因の多くが速度超過に起因していることから、中央自動車道を利用してドライバーが速度規制をどの程度認識しているかを検証するため、中央自動車道のインターチェンジやサービスエリアなどで

で、隊員が無作為に抽出したドライバー千人を対象にアンケートを実施したところ、二一・六%のドライバーが最高速度規制について認識のないうことがわかりました。

また、最高速度について認識のなかったドライバーのうち、男性では一八%、女性では四〇%が「規制標識に気が付かなかった」とか「最高速度は一〇〇キロだと思った」と回答、さらに、この二一・六%を中央道の一年間の総

ドライバーは無作為に抽出したドライバー1,000人を対象

時速80キロメートルを認識していた(78.4%)

時速80キロメートルを認識していない(21.6%)

ドライバー2割が知らず

2. 自転車の安全利用に対する広報啓発活動の推進
○各種交通安全教育の場を利用して、自転車利用時の義務や自転車も道路交通法の適用を受けるものであることを認識させるための広報活動を行う。

○高校生などは、近い将来自動車運転者となることから、自分自身の安全のみならず、道路交通の場において、周りの人(車)に対し配慮する意識の高揚を図る。

具体的には、自転車も違反すれば罰則があり、事故を起せば賠償責任など重点とした広報啓発活動を行う方針です。

調査対象者	無作為に抽出したドライバー1,000人を対象		男性	835人 [83.5%]
			女性	165人 [16.5%]
調査結果	時速80キロメートルを認識していた	784人 (78.4%)	男性	685人 [82.0%]
			女性	99人 [60.0%]
	時速80キロメートルを認識していない	216人 (21.6%)	男性	150人 [18.0%]
			女性	66人 [40.0%]

(注)調査期間 平成13年5月26日～6月30日までの間、交通死亡事故抑止緊急対策の一環として実施

交通量から換算すると、総通行台数三千二百八十三万台のうち、七百九万台のドライバーが、最高速度規制の認識がないまま走行していることが推定できます。

今後、高速道路交通警察隊では、ドライバーに対して速度規制を認識させ、速度超過による交通事故を防止するための、

○速度規制標識の設置方法などの改善(視認性の向上)

○速度取り締まりの強化と広報活動の推進

○最高速度規制などに関する交通安全教育の推進

○「速度抑制装置(リミッター)」の適用車種拡大の必要性の促進活動の推進(大型貨物自動車は二〇〇三年九月以降、リミッターによる最高速度九〇キロ)

などの対策を講じていきます。

園児保護者対象に Cシート着用講習

〇：諏 沢

諏訪交通安全協会(石澤道夫会長)は、チャイルドシート着用指導員が管内保育園で保護者を対象に着用講習会を開き、着用のポイントを指導

し、チェックアップツールによる装着点検をしました。また安協婦人部と交通安全母の会では一人暮らしの高齢者を対象に戸別訪問を行い交通安全指導並びに反射材の配付を行いました。

明治のふん装で 交通安全訴える

〇：南 部

南部交通安全協会(仲亀初利会長)は九月二十七日、JR身延駅前で、各交通機関団体と協力して街頭指導所を開設し車両の運転手や同乗者に対してシートベルト、チャイルドシート着用の指導を行いました。



明治時代の人力車やふん装をして交通安全パレード
=身延町のしょうにん通り

反射材直接張り付け活動を行いました。

増穂商業交通ボランティアと二推協・自転車協では、自

転車など安全チェックの日を定め増穂商業高や街頭において、原動付自転車・自転車通学者の車両整備および点検を



高齢者宅を訪ね、バッグに反射材を張り付ける安協婦人部の女性ら
=増穂町内

交通弁論大会で 中学生らが熱弁

〇：塩 山

塩山交通安全協会(曾根富夫会長)は、県防犯協会塩山支部と共催で、塩山中で中学生交通防犯弁論大会を開催し、管内の中学生が交通安全を訴えました。

九月二十五日、塩山市役所からJR塩山駅までの間、市内保育園児と保護者約百五十人が、園児のマーチングと鼓笛隊を編成して交通安全パレードを実施し、通行車両や歩



園児がマーチングと鼓笛隊を編成、パレードで交通安全を訴える
=塩山市内

国道140号沿いで 総合指導所開設

〇：市 川

市川交通安全協会(八木吉治会長)は、市川大門町の国道140号と下部町内の国道300号で、各町役場、交通関係団体の役員らが参加して、総合街頭指導所を開設しました。



国道140号で開いた街頭指導所
=市川大門町

指導所では、チラシや反射プリズムなどをドライバーに配布し安全運転を呼び掛けました。

園児と保護者が 安全教室を体験

〇：小 笠 原

小笠原交通安全協会(名取和久会長)は、期間中ドライバーに対する安全運転の呼び掛けを重点とし、各町村の危険箇所



保育園児や保護者を対象にダミー人形を使って交通安全教室を開く
=八田村の山梨自動車学校

を設置し安全運転を呼び掛けました。

★各種の免許(大型・普通・大特・けん引の各第一種、第二種免許及び普通二輪免許)の取得ができます。

★早朝夕方日曜その他あなたの生活条件に合わせた教習が受けられます。

財団法人
山梨県交通安全協会経営
公認 山梨自動車学校

中巨摩郡八田村野牛島1828
(免許センター内)
TEL (055) 285-0752

事故多発地点で 街頭指導所開く

〇：石 和

八田村、八田支部では、山梨自動車学校で来年度小学校へ入学を予定している八田保育園児と保護者に対し交通安全の恐ろしさを体験してもらうため、道路の横断の仕方や衝突タミー人形を使った交差点での巻き込み事故などの交通安全教室を開きました。

経産会長)は、夕暮れ時における交通事故防止を図るため「夕暮れ時は早めの点灯」と書いた桃太郎旗を五百本作製し、管内十二支部に配付するとともに、街頭に立てて広報啓発活動を行いました。

石和交通安全協会(杉田隆彦会長)は、九月二十一日に石和署駐車場で、町村交通対策本部、安管、幼稚園、旅館組合など約三百人が参加し「秋の全国交通安全運動」出発式を開きました。親子三代交通安全宣言、交通安全相撲甚句、手話合唱、マーチング

九月二十八日、塩山笛吹スポーツ広場で管内市町村のゲートボール四十九チーム約三百五十人が参加して交通安全大会を開催しました。大会では、警察官による交通安全講話がされた後、競技を楽しみました。

早めの点灯推進へ 桃太郎旗500本配布

〇：日 下 部

日下部交通安全協会(天野



高齢者交通ヘルパーの委嘱式でマジックなどで交通安全を訴える安協支部員
=三富村基幹センター



約300人が参加して開いた「秋の全国交通安全運動」の出発式
=石和署

管内の事故多発地点である、イツツモア一宮店前の国道20号で総合街頭指導所を開設し、女性部がゆで卵(キミを守る)やフドウなど啓発物品などをドライバーに配布しました。

連携の輪「年末」にリレー

事故防止へ多彩な活動

「秋の全国交通安全運動」地区だより

秋の全国交通安全運動は九月二十一日から三十日までの十日間、県警、県安協など関係機関・団体などが参加して行われました。高齢者の事故防止や飲酒運転の絶滅、シートベルト・チャイルドシートなどの着用徹底などの重点項目を掲げ、交通事故防止を図るために地区安協でもさまざまな取り組みを繰り広げました。県警のまとめによると、期間中の事故発生件数は百八十六件(前年九十二件)、死者一人(同一人)、負傷者二百四十三人(同一人)でした。地区安協の活動を紹介します。

130人が参加し安全パレード

○：**葦崎**
葦崎交通安全協会(山寺嘉一郎会長)は、九月二十五日、三十人がプラカードや交通安全



日本航空学園太鼓隊が勇壮な演奏で交通安全パレードを盛り上げる
＝葦崎市内

葦崎署、葦崎市、各交通関係団体が警察署から市役所の間で交通安全パレードを実施しました。パレードは、日本航空学園太鼓隊による太鼓演奏を行ってパレードを盛り上げました。

○：**長坂**
長坂交通安全協会(伊藤重忠会長)は、子供の交通事故防止を呼び掛けるため、通学



小学生に黄色い羽とチラシを配り、事故防止を呼び掛ける長坂安協支部員
＝長坂町内



安全運転を呼び掛ける手紙をドライバーに渡す北新小交通少年団
＝甲府市内

交通安全啓発用品を配布して安全運転を呼び掛けました。

交通標識や施設の安全総点検を実施

○：**北新小少年団**
手紙で安全訴え
○：**甲府**
甲府交通安全協会(秋山登

街頭監視を行いました。甲府市の北新小交通少年団は九月十九日、北新駐在所前交差点でドライバーに安全運転を呼び掛ける手紙を渡すレター作戦を行いました。団員二十二人は、黄色のベレー帽とスカートを身に付けて、同小児童が書いた手紙約

○：**長坂**
長坂交通安全協会(伊藤重忠会長)は、子供の交通事故防止を呼び掛けるため、通学

○：**南甲府**
南甲府交通安全協会(山下譲二会長)は、信号機の設置されていない交差点を重点に飛び出し注意を呼び掛けるため、飛び出し注意シール五百枚を路面に張り付けました。また、管内市町村および各支部ごとにチャイルドシート着用街頭指導所を開設し、チャイルドシート、シートベルトの着用を重点に各種交通安全チラシなどを配付して安全

安協から

上野原交通安全協会は、山梨県の最も東に位置し、いわゆる「東の玄関」にあたる北都留郡三町村の十三支部により構成され、「安全で住みよい街づくり」を目指しています。

警察署をはじめ関係各機関、団体との連携を図りながら、地域に密着した各種交通安全活動を推進しています。

安全で住みよい街をめざす

上野原安協会長 **和田 博夫**



出会い頭、正面衝突が主で、全体の約半数を占める状況となっています。特徴としては、地域外の運転者が関係している事故が五割を占め、県境、とりわけ首都圏に接す

○カーブ事故対策として、関係
本年度から実施)

○夜間反射材の普及と着用活動の促進
○道路標識の点検とカーブミラーの清掃活動
○各種交通安全フェアの開催
○子供の交通安全教室・自転車

地球環境にやさしく
天然ガス自動車使用

ISO9002 認証取得 (申請中)
松本引越センター関東甲信地区事業所

松本引越センター
山梨営業所
TEL. 055-240-3150
0120-22-0222
中巨摩郡玉穂町西新居330-7



交通ルールとマナーを取り入れたグラウンドゴルフに興じる高齢者たち
＝玉穂町内
玉穂町と玉穂支部では九月三十日、玉穂南小学校で高齢者に正しい交通ルールとマナーを身につけさせることを目的に、高齢者交通安全グラウンドゴルフ大会を開きました。大会には、大勢の高齢者が参加し有意義な一日を過ごしました。

三百六十通を赤信号で止まった車のドライバーらに「交通安全でよろしくお願ひします」気をつけて運転してください」と声を掛ながら手紙を渡しました。

地区活動だより

交通ボランティア 新たに11人を認定

○富士吉田

富士吉田交通安全協会(湯山喜六会長)は九月二十八日、河口湖町の県立富士ビジター



センターで交通ボランティアの認定式を行い、新たに十一人が交通ボランティア員となりました。

に対し交通安全の呼び掛けを行いました。同安協では、すでに一人の交通ボランティアが活動中であり、今回十一人の登録で十二人となりました。

また、飲酒運転絶滅のため、式終了後にはビジターセンター前の国道139号で街頭指導所を開設し、ドライバー

高齢者事故防止へ 交通安全地図作る

○都留

都留交通安全協会(三枝時彦会長)は、高齢者の交通事故防止対策として、高齢者路上指導会、ゆとり講習での「ヒヤリ・ハット地図」の製作や

反射材の配付を行いました。シートベルトとチャイルドシートの着用の徹底対策では、街頭指導所を開設し、ア



飲酒運転絶滅へ配布したシート(右)。新しいボランティア員に認定証が渡される



カーブミラーなど交通安全施設の点検をする安協支部員

落書きコンクールで 安全意識の高揚を図る

○上野原

上野原交通安全協会(和田博夫会長)は、運動の初日、JR四方津駅など主要地点で交通安全を呼び掛けるためチ



交通安全を願って落書きコンクールやチャイルドシート着用コーナーなどを開く上野原町勤労青少年ホームグラウンド

また、上野原署、上野原町、各交通関係団体が、園児・児童交通安全落書きコンクールを

し、通行者やドライバーに対し交通安全を呼び掛けました。

思いやりの心で安全運転を

県警交通部運転免許課長 橋田 泰昭



山梨県の運転免許保有者は、二〇〇一年十月末日現在、五十六万五千六百三十人で県民一・六人に一人が運転免許を保有しています。

また、男性と女性の保有比率も、年々ほぼ同数に近い状態で推移しています。



さて最近、山梨県の運転者について運転モラルが悪いとか、運転が乱暴で山梨ル

ルが横行して危険だとか、シートベルトやチャイルドシートの着用率が

者講習、違反者講習、取消処分者講習、高齢者講習などを行っています。

切にしたいものです。交通違反や交通事故を起こして停止や取消処分を受ける際、意見の聴取や聴聞の席で、運転ができないと通勤や仕事に困るとか、最

「若葉マーク」から「紅葉マーク」まで自動車の運転ができることの幸せを胸に、思いやりの心で常に安全運転に心がけていただきたいと思

運転は相手に対する、気配り、目配り、思いやりの一言に尽きると思

また、山梨県は高齢化が他県に比べて早く六十五歳以上の高齢運転者が一三%を占めるなど、高齢運転者に対する思いやりの運転も重要



通勤・通学者に交通安全を訴えるチラシなどを配布する大月安協母の会役員ら

JR大月駅

高い無事故率

早く優しい地元のための教習
富士吉田交通安全協会経営
山梨県公安委員会指定

岳麓自動車 教習所

富士吉田市新西原5-5-1
☎0555-22-1689
普一・二、大型一・二、大特、けん引
自二 (合宿施設有)

最優秀に佐藤綾(平和)さん

中学生の県交通安全弁論大会 事故防止へ力強く提言



第四十三回山梨県中学生交通安全弁論大会(県警、県交通安全協会共催)が十月十一日、甲府市のニュー機山で開催されました。大会には県内十五署管内の

県交通安全弁論大会の 最優秀作品

父は、以前「あしながおじさん」をしていたことがありますが、あしながおじさんとは、交通遺児のために、お金の支援をしたり励ましの言葉を贈ったり、身内のない子供達の父親代わりになり、元気づけるという活動です。

毎年、父にお世話になったという人からの「ようやく悲しみから立ち直りました。今は部活の野球に夢中です」「私は将来看護婦になりたいと思っっています。今はその夢に向かって頑張っています」と言ったのが来ます。このように明るい言葉を目にする度、父はとても嬉しそうに表

情を浮かべます。私も、この希望に満ちている言葉に励まされ、自分も頑張ろうという気持ちにいつもなります。交通事故は、一瞬のうちに大切な人を奪い、家族を悲しみのどん底に突き落とします。私は、この悲しみという精神的な負担を乗り越えて立ち直るなんてできないと思えます。きっと父にはがきをくれた人が立ち直れたきっかけは、まわりの人からの温かい援助があったからだと思います。

とはいえ、交通遺児がこれ以上増えるのはあってはいいけないことです。資料で調べてみると、全国で最も交通事故が多いのは北海道ということが分かりました。そこで北海道警察に問い合わせ、吉田さんという方に話を聞くことができました。交通事故の原因は、主に

ね。ルールを守らない運転はしてほしくないんだ」と嘆いていました。先日信号のない歩行者優先の横断歩道を渡っていたら、前から来た車が大きくクラクションを鳴らしてきました。このように、最近交通ルールを忘れてしまったかのようなドライバーが目につきます。ドライバーは、交通ルールは認識していると思います。この位のお酒は大丈夫だ、という安易な考えが、交通ル

地区大会で、優秀な成績を収めた十六人の代表が出場、持ち時間五分で、論旨がわかりやすいか、「声が大きくはっきり」として聞き取りやすいか「命・そして家族を守っていただきますか」の演題で弁論を行った上野原町立平和和三年、佐藤綾さんが優勝しました。各出場者は、自らの体験などを通じて二十一世紀に向けての交通安全を訴えました。受賞者は次の通りです。

「優勝」▽山梨県知事賞 佐藤綾(平和3)

「準優勝」▽山梨県議会議長賞 伊藤香絵(武川3)▽山梨県教育長賞 伊東勝(芦安2)▽県警察本部長・県安協

山梨県交通安全協会は地区安協婦人部幹部の研修会を行いました。この日は警察官、市町村交通安全指導員、チャイルドシートの販売員、そのほか交通安全の指導・啓発などに従事する五十四人が受講しました。

その時、私も「交通ルールを守ってほしい」と強く感じたので、吉田さんの気持ちがよく分かりました。この体験談と、その頃から交通ルールはこの位のスピードは大丈夫だ、持ち始めたことを吉田さんに

「命、そして家族を守っていますか」

平和3年 佐藤綾

「警察がいくら事故減少に努めても、最終的にはドライバー自身の気の持ち方だから

チャイルドシート指導員資格
地区安協の女性12人取得

この日は警察官、市町村交通安全指導員、チャイルドシートの販売員、そのほか交通安全の指導・啓発などに従事する五十四人が受講しました。

その結果、各地区安協婦人部長十二人がチャイルドシート指導員に認定されました。今後、各地区において指導員としての活躍が期待されます。

チャイルドシート指導員養成研修会で専門的な知識を修得する地区安協婦人部の人たち。甲府・県自治会館

チャイルドシート指導員に認定された人は次の通り。

今橋昌美(甲府安協) 岡恵美子(南甲府安協) 米山房子(小笠原安協) 菊島直子(葦崎安協) 中野喜代子(鵜沢安協) 山本悦子(南部安協) 河口森子(市川安協) 小宮山和子(石和安協) 加藤てるを(日下部安協) 飯田よしみ(塩山安協) 山田久子(都留安協) 小林チヨコ(大月安協)

交通安全推進へ
2月に県民大会

白根桃源文化会館

二〇〇二(平成十四)年交通安全推進県民大会(山梨県、県警、県交通対策推進協議会、県交通安全協会主催)は二月十八日午後一時半から、中巨摩郡白根町の白根桃源文化会館で開催されます。

県内の交通事故は、年々増加傾向を示し、県民の尊い生命が危機にさらされています。同県民大会は、年頭に当たって官民が一体となり年間を通じて各種交通安全活動の推進を誓い合い、県民の交通安全意識高揚のための契機とします。



佐藤綾さん

AMS (県自動車整備振興会)

ユーザーの愛車を
無料点検サービス



ユーザーに好評の無料点検サービス
(円内はキャラクター「てんけんくん」)

を紹介し、同日は当会AMS山梨青年懇話会のメンバーが中心となり来場ユーザーの自動車無料点検し、点検などを通じて日常点検の知識習得、実車体験を通じた点検整備の必要性およびユーザー自らの責任で愛車を管理することなどをPRし、ユーザーに車の日常点検を体験してもらいました。

点検アドバイザーがドライ

社団法人山梨県自動車整備振興会(アムス)は、九月一日から十月三十一日までの二カ月間、自動車ユーザーの自動車に対する保守管理意識の高揚、並びに、自動車の適切な点検・整備を通じて自動車の安全確保と地球環境の保全を図ることを目的に点検整備促進キャンペーンを実施しました。

今回は、十月八日(自動車点検整備推進デー)に甲府・小瀬スポーツ公園で開催された「トラックの日」に実施したマイカー無料点検サービス

異常に暑かったかと思えば涼しい日が続いたりした気まぐれな夏もいつのまにか過ぎ、いよいよ冬将軍の暴れる季節です。

お車の冬支度はお済みですか。

JAF(日本自動車連盟)

車の冬支度は万全に

去年の冬は例年になく雪が多く、車のトラブルでお困りになった方も多かったと思

24時間全国どこでも
#8139

JAFにおまかせ



JAF山梨ロードサービスセンター
055-241-0111

最近のスタッドレスタイヤは、ある程度減ってもグリップにさほど変化がないタイヤもあり、ほとんどどのタイヤは二、三シーズン履くとかなりグリップ力が低下してしまします。装着する前にブラットホーム(スタッドレスタイヤの効力が無くなるサイン)の確認をされるとともに、雪の降り始めに安全な場所です

の車を降らせるのか、今から心配で仕方ありません。でも心配ばかりしていても始まりませんので、みなさんも私たちがJAFと一緒に一度車の冬支度を考えてみましょう。

まずタイヤで

来年の春まで冬将軍に負けないよう、車も人も元気で過ごしましょう。

TSMマーク

県内の二〇〇〇年の中

自転車の安全と安心の認定書

者となるわけですが、特に加害者になった場合、賠償責任が発生します。そんな時、必要なのがTSMマークです。



同年中の全国の自転車の交通事故は五年前に比べ死者数は三万五千人、約二五%も増加しています。

また、TSMマークを張り付けていない自転車の死亡・重傷事故率は、三千

自転車安全運転センター

知っておきたい証明業務

◎交通事故証明書の使用例

自動車損害賠償責任保険	保険会社
自動車損害賠償責任共済	農業協同組合、全労済
任意保険(共済)	保険会社、農業協同組合、各種団体など
市区町村共済	市区町村
生命保険(共済)	保険会社、農業協同組合など
勤務先等への報告	勤務先
交通遺児育英資金	交通遺児育英会、自動車事故対策センター
その他	

(1) 交通事故の証明

自動車安全運転センターの証明業務は次の通りです。

人身事故

物件事故

(2) 運転経歴の証明(四種類あります)

ア. 無事故・無違反証明書

イ. 運転記録証明書

ウ. 累積点数などの証明書

エ. 運転免許経歴証明書

オ. 各種証明書の申込方法

電話 055-285-23